

おくやみ手続きをわかりやすく

阿部 利恵子 (公明党)



【質問】 おくやみに伴う手続きの負担軽減を訴えてきた。6月より「おくやみ手続きナビ」「おくやみハンドブック」を提供することだが、概要を伺う。

【質問】 「おくやみ手続きナビ」は、遺族が必要な手続きをスムーズに進めるための支援ツールで、「いつまでに」、「どこで」、「何を」行う必要があるのかを把握できる。おくやみハンドブックは、住民登録など死亡後に必要な手続きを一覧化し、手続きの流れや必要書類を分かりやすく説明した冊子。

【質問】 改修予定であった久留米中学校のトイレは、今年度の工事が難しいとのことだが、経過や今後の方向性は。

【質問】 国の交付金等を活用し、工事を予定していたが、当該工事が採択されなかった。夏休み中に施工開始できないため、今年度中の工事実施を見送る判断をした。今後は、財政支援を活用し改修工事が実施できるよう検討する。

子ども・保護者・地域の声を形に

高橋 和義 (公明党)



【質問】 公園について、①子供の広場の選定スケジュール、②防犯カメラ設置の検討状況について伺う。

【質問】 ①6月29日に学識経験者等によるワークショップを予定。ここでの意見を参考にしながら決定したい。②協議体について5月21日に第1回目を開催。公園内への防犯カメラ設置の必要性について共通認識を持った。具体的な設置場所は今後の協議体で精査。

【質問】 小中学校の取り組みについて、①立川市の事件後、本市の対応は、②開校後のチャレンジクラスの様子は。

【質問】 報道後、管下の小中学校に安全管理の徹底に関する注意喚起メールを送付。同日夜には児童・生徒への指導、管理体制の確認を行った。各学校の安全対策等について把握・検証のため、一斉点検を実施。②登校状況は、83.2%の生徒が昨年度の出席率を上回り、出席率10%の生徒もいた。

トイレの待ち時間の男女均等化を

鴨志田 芳美 (日本共産党)



【質問】 公共施設等での女性トイレの増設は、社会全体として向き合うべく長年の問題とされてきた。また、女性はトイレの使用に時間がかかることから、結果として女性側だけに長蛇の列ができており、まさに男女のトイレ格差が生まれている。市として、災害時の対応、公共施設としても、大規模改修や建て替えなどの機会を捉えて、是正していくべき課題である。前進に向けた第一歩として、トイレの男女格差を全庁的に人権の問題として広く周知し、市民の声や女性職員などの声を聞いて一緒に考えていき、認識をアップデートしていく必要があるのではないかと思う。この件について市長の認識を伺う。

【質問】 公共施設等での女性トイレの増設は、社会全体として向き合うべく長年の問題とされてきた。また、女性はトイレの使用に時間がかかることから、結果として女性側だけに長蛇の列ができており、まさに男女のトイレ格差が生まれている。市として、災害時の対応、公共施設としても、大規模改修や建て替えなどの機会を捉えて、是正していくべき課題である。前進に向けた第一歩として、トイレの男女格差を全庁的に人権の問題として広く周知し、市民の声や女性職員などの声を聞いて一緒に考えていき、認識をアップデートしていく必要があるのではないかと思う。この件について市長の認識を伺う。

エアコン設置の補助制度を

永田 雅子 (日本共産党)



【質問】 昨年度、委託運営の学童保育所において夏季休業中の弁当提供が試行実施された。直営の学童保育所も含め、今年度の対応について伺う。

【質問】 委託運営の学童保育所は、昨年と同一の事業者による配食準備を行っている。直営の学童保育所も現在調整中だが、試行実施と同様の配食が可能な事業者を見つけることが困難な状況。夏休みも目前に迫っている。委託運営と直営の学童保育所で実現できるように、鋭意取り組んで欲しい。

【質問】 エアコン設置助成を生活保護世帯や生活困窮世帯等に限定して支援する自治体もある。命を守る取り組みだと思いが、制度創設の考えを伺う。

【質問】 他部署と連携し、注意喚起を第一に取り組んでいく。現時点で独自に助成を行う考えはない。【要望】 まず、試行的に対象を限定して支援をやってみる意義はある。

# 一般質問 市政のここが聞きたい

第2回定例会の一般質問は、6月9日・10日・11日・12日の4日間で行われ、各議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第2回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信からご覧いただけます。会議録は、8月下旬から、市ホームページ（PDF版は8月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。

ハスルパワーで危機を乗り切れ！

宮川 豊史 (久留米ハートネット)



【質問】 ピンチになるほど湧き上がる私ハスルパワーは最高マックスに燃え上がっている。なぜなら東久留米が過去にない危機に直面しているから。令和7年度予算総額50億円と過去最高これだけでも問題なのに、新年度が始まってまだ3カ月でもう50億円に膨れ上がっている。予算総額増加に伴い行政の仕事も増加。今の財政力ではこれ以上人件費を増やすことはできない。財政調整基金残高も16億円に減少。さらに駅西口・市役所・学校の大規模改修に莫大な経費が必要。これだけ逼迫した状態にもかかわらず行政や議会から危機感を感じない。市長任期残り半年、できる改革は何でもやる覚悟はあるのか。

【質問】 市内でも危機意識は、共有されていると考えている。残り任期の日数に限らずできることをしっかりと行いたい。

安全で暮らしやすい街へ！

引間 太一 (ニューウェーブ)



【質問】 本市デマンド型交通「くるぶ」について、高齢者の免許証の返納を促す取り組みの一つとして移動手段のサポートが必要。さらなる周知を図ることにより、デマンド型交通の利用者数の向上、そして地域の交通安全の向上につながると思うが、市の見解を伺う。

【質問】 市ホームページに「くるぶ」の利用登録年齢要件緩和により65歳以上の運転免許証の自主返納者も利用登録が可能と分かるような工夫をするなど、さらなる周知に努めていきたい。

【質問】 都立六仙公園の用地取得率は。【質問】 計画面積約15ヘクタールのうち、おおよそ7.6ヘクタールが開園。令和7年4月現在の事業認可面積に対する用地取得率は約81%、おおよそ10ヘクタールの買収が完了。【要望】 ドッグランの整備について、都民のニーズや地域性を踏まえ、引き続き都へ要望を伝えてほしい。

マンション建設計画と第五小学校

岩崎 さやこ (国民民主党)



【質問】 南沢四丁目大型集合住宅建設計画の第五小学校への影響について、①現在の児童推計、②建て替えや増築などの工事となる場合があるのか伺う。

【質問】 ①東京都の教育人口推計、令和6年度調査では、減少傾向。大規模集合住宅がどのような影響を与えるかは、今後、東京都の7年度調査結果と担当課の推計などを比較検討し精査を行う予定。②大規模集合住宅の建設等による増要因が生じたことから、慎重に対応策を検討する必要がある。また、標準耐用年数である築60年を超えているため、老朽化も踏まえた検討が必要。

【質問】 小中学校教職員による不適切な指導があった際の相談について伺う。【質問】 相談については、学校に直接ご連絡いただくことが重要であると認識している。学校は組織的に対応し、丁寧な説明や、相談しやすい体制づくりにも努めるなど、繰り返し指導している。

地域経済の活性化

野島 武夫 (自民クラブ)



【質問】 今後の高齢化率と高齢者人口の推移推計について伺う。【質問】 東久留米市地域福祉計画（第4次改定）では、高齢化率が令和5年の28.8%から令和22年には34.6%に上昇し、高齢者人口は令和5年の3万3611人から令和22年には3万7890人に増加していくと推計している。

【質問】 本市の商店街の振興策について伺う。【質問】 商店街チャレンジ戦略支援事業と商店街活性化対策事業の2つの事業を実施している。いずれの事業も、中小商業の経営の安定および発展ならびに地域経済の活性化に寄与することを目的として、商店街等が実施するイベントや活性化事業に対し補助を行うものである。商店街活性化対策事業は市独自の事業で、空き店舗の利用促進やより独自の強い取り組みを主な補助対象としている。

市民とともに築くまちの安全

篠宮 よしのり (自民クラブ)



【質問】 防犯機器購入緊急補助事業の対象機器、申請方法、周知について伺う。【質問】 対象は、家庭用防犯カメラ、防犯フィルム、その他侵入盗被害防止に有用な防犯機器等。申請は防災防犯課窓口のほか、郵送、インターネットで受け付ける予定。広報・ホームページやLINEなどを活用した周知を検討。

【要望】 市民の命と暮らしを守るための施策を積極的に展開するよう求める。【質問】 対話の機会として実施したタウンミーティングおよび座談会の実績は。【質問】 タウンミーティングは、5年度は「公共施設マネジメント」をテーマに、6年度は「東久留米市の魅力や未来を語る」をテーマに実施。座談会は、応募団体のもとに市長が出向く形式で5年度および6年度に実施。【意見】 こうした取り組みをさらに広げ、多様な市民層と信頼関係を築くことを期待する。

「活力と魅力あるまち東久留米へ」

沢西 卓哉 (自民クラブ)



【質問】 学校施設の更新時、都市計画施設として位置付け、都市計画税を活用していくことを検討すべきと考えるが見解を伺う。【質問】 都市計画上の都市計画施設として位置付け、施設更新費用等に都市計画税を充当することも可能ではないかと考える。関係部署とも連携し、東京都にも相談し、調査・研究していく。

【質問】 職員採用にあたり、カムバック採用や就職氷河期世代採用の方法を取り入れてはと考えるが見解を伺う。【質問】 カムバック採用は、退職した職員が、改めて市職員として働く機会を設けるもので、即戦力としての人材登用に繋がる。次回募集から実施予定。社会人経験者採用として年齢要件を引き上げたが、関心度が高いことがわかった。氷河期世代と重なる年齢も含まれており、今後もこの状況を踏まえた職員募集を行っていききたい。